

種目名	数 学	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	啓林館
-----	-----	---------	-----	--------	--	---------	-----

発行者 観 点		東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版
1 学習指導要領との関連		数量や図形の性質を見い出しながら、問題解決を図る過程を意識した活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等を高めるための工夫がなされている。	めあての記述より学習課題を明確にし、知識・技能の習得から段階的に学習を進められるよう工夫されている。さらに数学的な活動を取り入れ、表現力を伸ばせるよう編集されている。	数学的活動を具体的に示し、基礎的な概念や原理、法則についての理解、表現・処理への習得をスモールステップで取り組めるようになっている。	自分の考えをもって筋道を立てて説明したり、他者の考えを聞いたりする場面を設定し、対話しながら自己の考えを深められるように編集されている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		現代社会における課題や、身近な事象や日常生活の場面に関する題材が提示され、社会に数学が役立つことを実感させる内容になっている。	自然や歴史、日常生活に関する場面からの導入や、数学的に活用されている事例により、社会への生かし方を学べるよう工夫がなされている。	日常生活の場面や職業に関する内容が多く取り上げられており、数学の有用性が実感できるよう編集されている。	職業および生活との関連を重視し、有識者の経験談やアドバイスを示すことで、数学のよさや実用性を実感できるようになっている。
3 内 容	(1) 内容の選択	ヒントとなる「つぶやき」や既習事項との関連を示す「ちょっと確認」が、理解を深める手がかりとなり、主体的に学習できるようになっている。	導入の課題「考えよう」の提示から、数学的活動へと促して学習意欲を高め、主体的に課題解決に取り組めるようになっている。	数学的活動が随所に盛り込まれ、数学的な見方・考え方の記載をヒントに、見通しをもって問題解決が図れるよう工夫されている。	側注に記されている「もどって確認」や「数学的な考え方」によって、既習事項の確認や課題解決の重点を知ること、主体的に学べるように工夫されている。
	(2) 内容の程度	例と似た問題にマークがつけられ、さらに練習問題が豊富で、基礎基本の定着を図れるよう工夫がなされている。発展的な問題も扱われ、習熟度にあわせて取り組むことができる。	「プラス・ワン」等の適切な補充問題を用意し、繰り返し練習する機会を設け、学習内容が定着できるよう工夫されている。	基礎から発展まで、問題の種類が多い。発展問題では、高校数学も紹介されており、新しい考え方を学ぶ上で意欲の向上も期待できる。	練習問題や補充問題の量は適切であり、基礎基本の定着を図ることができるとともに、★印のついたやや難易度の高い問題もあって習熟度に応じた内容になっている。
	(3) 内容の構成	導入で具体的に課題が提示され、その解決にむけて、「考えてみよう」から例題、問題が設定されており、段階的に学習を進めることができる。	考え方を問う内容が豊富で、学び合いにつながる構成となっており、習得した知識・技能を活用して主体的に取り組めるようになっている。	例題や問題だけでなく、既習事項のふりかえりや学習内容のまとめ、次の課題へつなぐ言葉が記載されており、学びがとぎれないような構成となっている。	「Try」で課題を明確にし、吹き出しを手がかりにして問題解決ができ、一連の学習スタイルで取り組めるように構成されている。

4 表記・表現及び使用上の便宜等	<u>東京書籍</u> 「ちょっと確認」や「イラストのつぶやき」が適宜掲載され、課題解決に向けた振り返りがしやすくなっている。	<u>大日本図書</u> 写真や挿絵が工夫されており、学習場面を分かりやすく示している。さらに、用語の語源について補足説明もあり、興味深いものになっている。	<u>学校図書</u> 学習を進めながら必要に応じて振り返ることができるように、既習事項の記載のページ数を示すなど、工夫がなされている。	<u>教育出版</u> 例題の解答がノート形式で理解しやすく記され、個で振り返りながら学習に取り組むことができ、基礎基本の定着が図りやすい。
5 印刷・造本等	淡い色彩を基調とし、字体等を効果的に変え、見やすい構成になっている。造本は堅牢で適切である。	単元のめあてが色分けしてあり、取り組みやすい印象である。また、学年によって文字の大きさを変え、発達段階に応じたものになっている。	自然な色合いで、印刷も鮮明で読みやすい。表紙の手触りもよく、手になじむ感触が心地よい。	全体的に色彩豊かで、色の濃さや図の形状を効果的に変えている。紙質は軽く、表紙は堅牢である。

発行者 観 点	啓林館	教研出版	日本文教出版	
1 学習指導要領との関連	「話しあおう」や「説明しよう」では、多様な考えに触れたり、筋道を立てて説明したりする場が設定されており、対話をしながら深い学びへつなげられるように編集されている。	キャラクターが会話しながら課題解決を進めていく形式で、それをヒントに個で考えを確立させ、対話を通して深い学びへつなげていく工夫がなされている。	間違いやすい問題を示して、基本的内容の確認をしたり、「考えよう」「話し合おう」など問いを設定して思考力・判断力・表現力が身に付くようにしたりと配慮されている。	
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	生活に直結した「利用場面」があり、周り話し合ったり、自分の考えを深めたりしながら、学習内容を社会生活に生かす意欲化が図られている。	日常生活の中にある数学をもとに課題が提示され、問題解決を図ることで、主体的に課題を捉えられるように工夫している。	身近なことから数学の問題として捉えさせ、「対話シート」を活用しながら問題解決を図り、考えを深めることができるようになっている。	
3 内 容	(1) 内容の選択	身のまわりの場面から数学の問題を見出し、言語活動を含めた数学的活動を通して、数学的な見方考え方をヒントに問題解決が進められ、主体的に学習が取り組めるようになっている。	吹き出しをヒントに、概念や法則を理解できるようになっている。「探究ノート」で、数学的な見方・考え方を働かせながら解決を図り、思考力等が育まれる形になっている。	「めあて」を記載して課題を明確にし、側注に示した「大切な見方・考え方」を手がかりにして、主体的に問題解決を進められるよう工夫されている。
	(2) 内容の程度	例題で考え方を丁寧に記し、その類題や問題練習により基礎基本の確実な定着が図られている。また、補充から発展まで幅広い難易度の問題を取り入れ、習熟度別学習にも対応している。	適切な問題を設定し、基礎・基本の定着が図れるとともに、巻末の「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」には補充や発展問題が豊富で、習熟度に合わせて学習ができるようになっている。	「数学のたんけん」や「数学マイトライ」で、数学へ興味・関心をもたせる内容が豊富に載せられており、数学を身近に感じさせられるよう示されている。
	(3) 内容の構成	既習事項の確認、導入場面での課題発見、追究、例題、問題というステップを設定し、段階的に習得しやすいように構成されている。	例題や間違いやすい問題が丁寧に解説されており、章末の問題には、基本から発展まで設定され、個に応じた学習が繰り返し取り組めるようになっている。	身近な事柄の中から数学の問題を見出して「めあて」を提示し、その課題を解いていく構成になっており、学習が進めやすくなっている。
4 表記・表現及び使用上の便宜等	用語は太字で強調され、手書きの囲み枠も親しみやすさを感じる。補助教材としてQRコードが配置され、理解の助けとして活用できる。	文字が大きめで、用語に振り仮名をつけたり、太字や下線・囲み枠などを効果的に使って強調したりして、視覚的に捉えやすくなっている。	単元の始めに既習事項を確認する内容があったり、課題解決後には次の課題が記載されていたりして、継続的な学習になるよう工夫している。	
5 印刷・造本等	自然な色彩で、強調文字も効果的である。紙質も良くて書き込みやすく、造本も堅牢である。	表紙の素材が光沢があるにもかかわらず手触りが柔らかい。グラフが書き込みやすくなっている。	緑色を基調とした優しい色使いになっている。余白が十分にとられており、書き込みやすく、すっきりとした印象である。	